

HIDWR

兵庫県感染症発生動向調査週報(速報) 平成 23 年第 34 週 (8 月 22 日~8 月 28 日)

兵庫県感染症情報センター (兵庫県立健康生活科学研究所:健康科学研究センター)

Hyogo Infectious Diseases Weekly Report

全国の情報は国立感染症研究所感染症情報センターホームページにてご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-i.html>

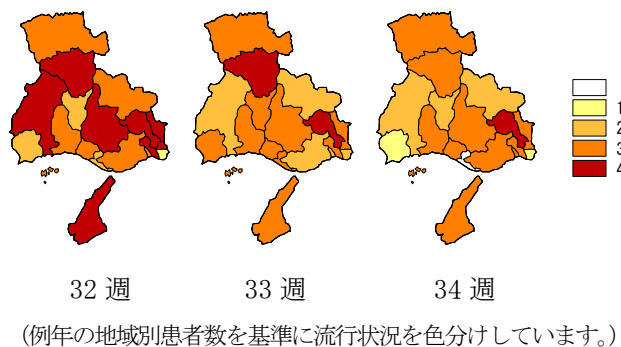
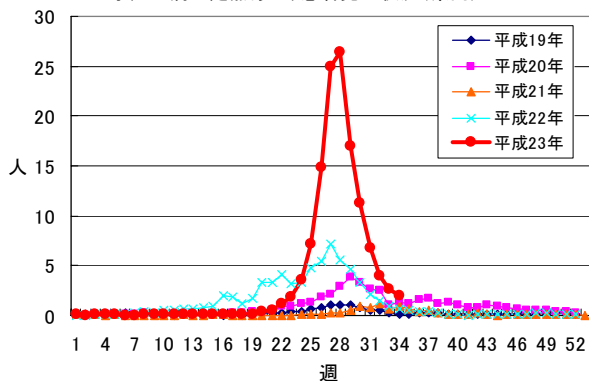
定点把握感染症 (指定された医療機関から報告を求める感染症です)

手足口病

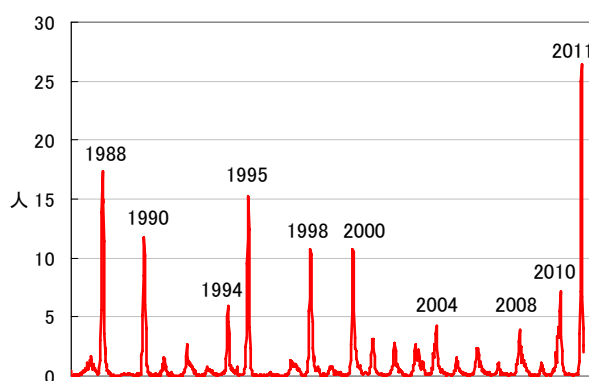
定点あたり患者数は今週 **2.00 人** (先週は 2.60 人) と引き続き減少し、定点観測が始まってから最大規模となった流行もほぼ収まったようです。

地域的にみても、警報レベルである定点あたり患者数 5 人以上となっているのは加東保健所管内のみとなりました。

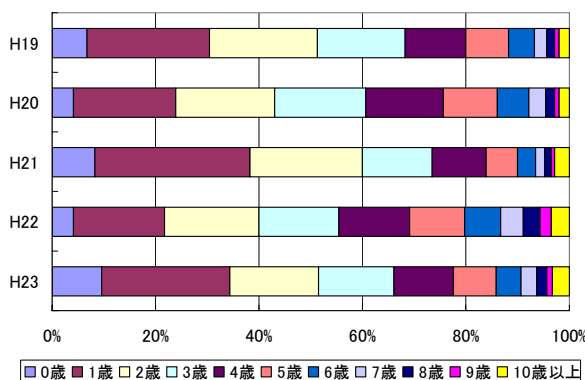
手足口病の定点あたり患者発生状況(県内)



手足口病の定点あたり患者数の推移(県内)



手足口病の年齢階級別患者発生割合



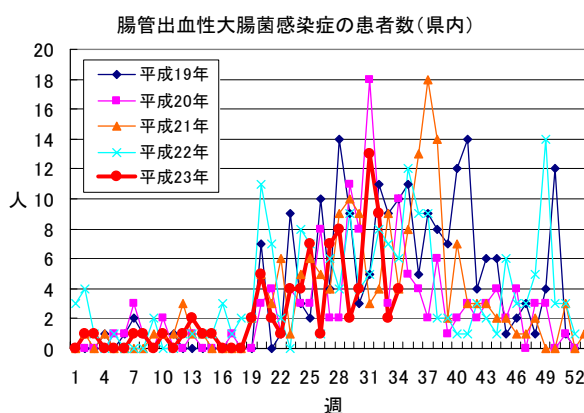
定点あたり患者数の上位 10 位の疾病

	疾病名	定点あたり患者数		増減		疾病名	定点あたり患者数		増減
		今週	先週				今週	先週	
1 位	感染性胃腸炎	2.74	2.54	+0.20	6 位	伝染性紅斑	0.54	0.26	+0.28
2 位	手足口病	2.00	2.60	-0.60	7 位	水痘	0.47	0.60	-0.13
3 位	ヘルパンギーナ	1.00	0.82	+0.18	8 位	流行性角結膜炎	0.46	0.43	+0.03
4 位	流行性耳下腺炎	0.78	1.05	-0.27	9 位	A 群溶血性連鎖球菌咽頭炎	0.37	0.40	-0.03
5 位	突発性発しん	0.58	0.49	+0.09	10 位	咽頭結膜熱	0.31	0.32	-0.01

全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症です）

腸管出血性大腸菌感染症 

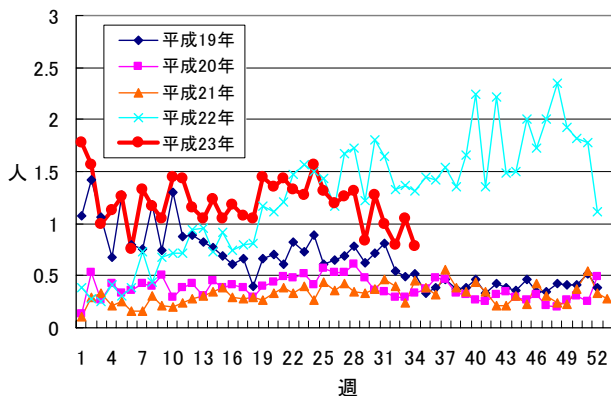
今週は 4 人の報告がありました。夏場はこの感染症の流行の最盛期となっています。小児・高齢者等は溶血性尿毒症症候群（HUS）を発症して重症化することがあります。肉・レバーなどの食品はよく加熱し、生食は控える、箸を使い分けるなど、感染予防が大切です。



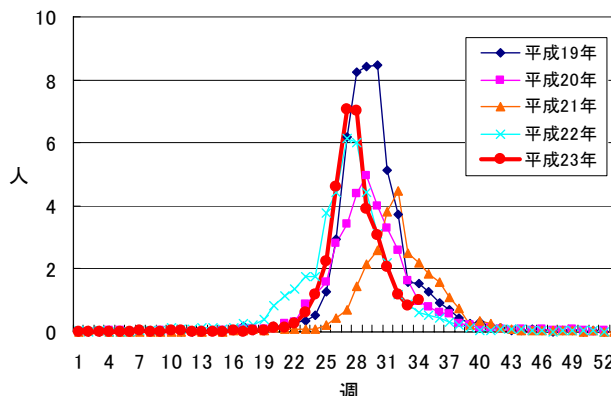
1 類感染症	報告はありません。
2 類感染症	結核 27 名 （神戸市 9 名、尼崎市 2 名、姫路市 3 名、西宮市 5 名、芦屋保健所管内 1 名、伊丹保健所管内 1 名、宝塚保健所管内 1 名、加古川保健所管内 2 名、加東保健所管内 1 名、洲本保健所管内 2 名）
3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症 4 名 （有症者 2 名、うち HUS 0 名） （姫路市；O157 VT1+ VT2+ 女性 20 歳代、明石保健所管内；O157 VT1+ VT2+ 男性 10 歳代、O157 VT1+ VT2+ 女性 60 歳代、加古川保健所管内；O157 VT1+ VT2+ 男性 1 歳）（累積報告数 85 名；有症者 70 名、うち HUS 2 名）
4 類感染症	レジオネラ症 1 名 （伊丹保健所管内；肺炎型 男性 50 歳代 感染地域；兵庫県、感染経路；不明）
5 類感染症	報告はありません。
追加報告	報告はありません。

目で見える動向（県内）

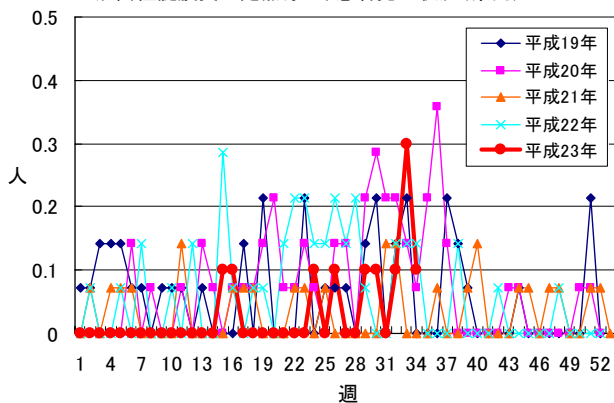
流行性耳下腺炎の定点あたり患者発生状況（県内）



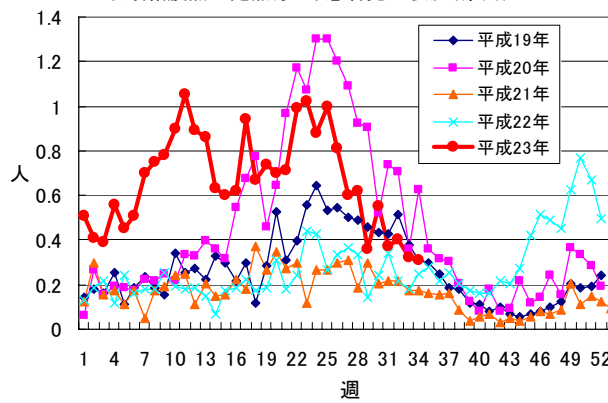
ヘルパンギーナの定点あたり患者発生状況（県内）



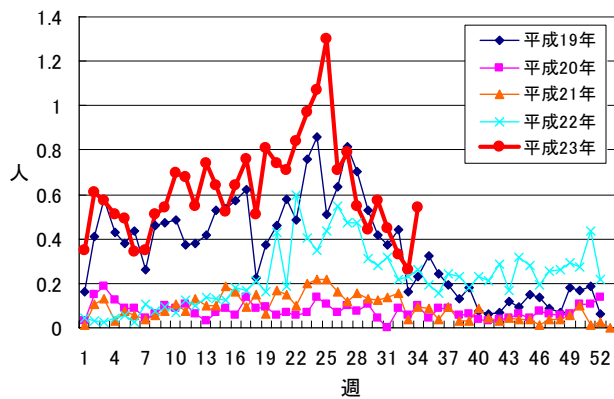
無菌性髄膜炎の定点あたり患者発生状況（県内）



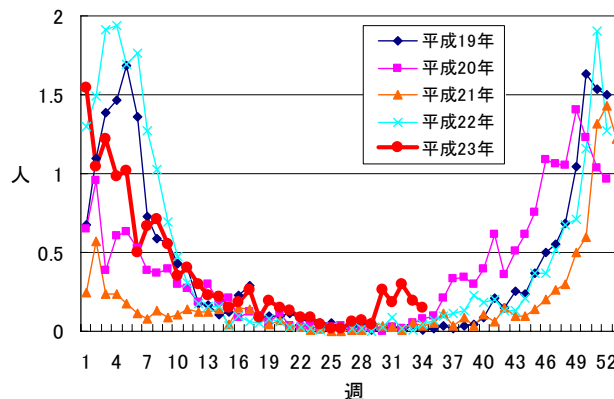
咽頭結膜熱の定点あたり患者発生状況（県内）



伝染性紅斑の定点あたり患者発生状況（県内）



RSウイルス感染症の定点あたり患者発生状況（県内）



冬期を中心に流行する感染症ですが、
今年患者数の増加の始まりがやや早いようです。

この週報は兵庫県立健康科学研究所：健康科学研究センターホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/> にも掲載しています。

また、<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html> から国立感染症研究所感染症情報センターの週報（IDWR）がダウンロードできます。